

ブックリユースを開催して

中央図書館事務部 図書総務課 青 木 斐

資料の収集・保存は、よく知られた図書館の仕事ですが、廃棄もまた重要な仕事です。図書館の収納量には限りがあり、同じ資料を複数冊所蔵できません。また、資料にも賞味期限があり、改版などにより、古いものが不要になることがあります。図書館が適切な資料を持つためには、それらを廃棄しなければなりません。

そこで、今年初めて開催したのが、ブックリユースです。直訳すると「本の再使用」になるでしょうか。図書館で不要になった資料を本学関係者や地域住民の皆さんにお譲りして、学習や研究に役立ててもらおうという企画です。

【概要】

開催日時：2011年11月21日（月）、22日（火） 延長24日（木）、25日（金）

いずれも10:30～16:00

場 所：近畿大学中央図書館2階 第二演習室

条 件：無償。1人当たりの譲渡冊数に制限はなし。転売目的の引き取りは不可。

【引き取り人数と冊数】

	11/21（月）		11/22（火）		11/24（木）		11/25（金）	
	人 数	冊 数	人 数	冊 数	人 数	冊 数	人 数	冊 数
学 内	310	2,673	158	847	32	155	32	139
学 外	55	524	27	218	5	26	4	4
小 計	365	3,197	185	1,065	37	181	36	143
両日合計			550	4,262			73	324
全日合計							623	4,586

※ 24・25日は、用紙の回収枚数を来場者数としました。

【スケジュール報告】

2011年6月～

実施内容・担当者を検討。

10月1日

チラシ・ポスター完成。広報活動を開始。

11月11日

図書館職員向け事前説明会を実施。

11月14～16日

会場設営および譲渡図書の整理作業。

11月21日

ブックリユース開催。

11月22日

ブックリユース撤収。

第18回 近畿大学中央図書館蔵書展 ミニ講義の会場設営。

11月24日

ブックリユース追加開催。

11月25日

撤収。

【活動報告】

（譲渡する図書の準備）

図書にブックリユース印を押し、和洋ともに日本十進分類法（第1次区分）で分け、背のタイトルがみえるように段ボール箱へ詰めて机の上や床に並べました。また、大型本は机の上に直接並べ、文庫・新書と資格就職関連図書は、書架に別置きしました。



職員による整理作業の様子



ブックリユース印を押した図書



箱詰めされた図書

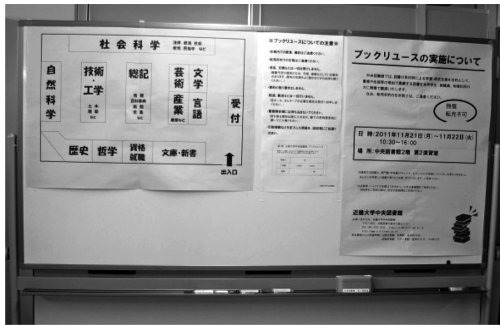


ジャンル別に並べられた図書

（21・22日の様子）

開場前には中央図書館の1階から行列ができ、その後も来場者が絶えることのない盛況ぶりでした。特に開場直後やお昼休みは来場者が多く、会場内が混み合いましたが、職員を増員して対応したため、大きな混乱はありませんでした。

当日は来場者数をカウントし、入口付近に設置した受付で、所定の用紙（開催日・所属・引き取り冊数を記入）を回収することで、のべ人数と譲渡冊数を記録しました。また、随時、図書を詰め直す、空き箱を引き抜くなどの整理作業を行いました。



会場の配置図と注意書き



熱心に図書を選ぶ来場者

※ブックリユースについての注意※

- ・会場内での飲食、撮影はご遠慮ください。
- ・販売目的での引取はご遠慮ください。
- ・返品、交換などは一切受けません。
(廃棄予定の資料のため、汚損、破損などしている場合があります。資料の状態をよく確かめてからお持ち帰りください。)
- ・資料の取り置きはしません。
- ・配達、郵送などは一切行いません。
(段ボール、ガムテープが必要な場合は受付へお申し出ください。)
- ・蔵書展会場には持ち込まないでください。
(持ち帰る資料は抱に入れるか、脚下の荷物置用机に置いてご入場ください。)
- ・引取冊数などを記入した用紙を、回収箱にご投函ください。

2011.11
近畿大学中央図書館



持ち帰る図書を整理する来場者

(24・25日の様子)

希望が多く寄せられたことから、2日間の追加開催が決定しました。ただし、会場は一度撤去したため、残りの図書を箱に詰めて床に直接配置しました。さらに受付に人を置くことをやめ、代わりに回収箱を設置して、用紙を投函してもらい、来場者数と譲渡冊数を把握しました。

なお、ポスターで注意を喚起し、職員が定期的に見回りと図書の整理を行ったこともあって、受付が無人でも特に混乱はありませんでした。



追加開催時の会場



追加開催時の受付（原則、無人）

（感想と今後の課題）

今回は初開催のため、職員もまだ勝手が分からず、効率がよいとは言えませんでした。会期や作業工程などについては、改善する余地があります。今後も引き続き、ブックリユースを続けていくためには、工程全体の見直しが必要だと思います。

しかし、企画そのものについては、おおむね成功だと感じています。連日、予想以上に多くの方々に来場していただきました。「ずっと探していた本だ。もう売ってないんだよ。」「自分では高くて、買えなかった本だ。」などの感想が聞こえる中、皆さんが会場内を隅々まで見て回り、真剣に図書を選ぶ姿が印象的でした。嬉しそうに図書を抱えて帰る皆さんを見て、「末永く可愛がってあげてください。」と、心の中で手を振って見送りました。

一方で、「何冊でも良いのですか。」「図書の追加は無いのですか。」「知りませんでした。次はいつ実施しますか。」などの意見も寄せられました。今回は、辞書をはじめ、複数冊で構成されるシリーズも多いことから、1人当たりの譲渡制限を設けませんでした。また、会期は（当初）2日間のみということで、初日にすべての図書を並べましたが、先着順のため、開場直後に来場者が集中してしまいました。通路が狭かったことも、混雑を助長しました。

今後については、譲渡冊数の制限や図書の随時追加などをはじめ、他の条件も再検討する必要があります。そして、不公平を是正し、広報活動の一層の充実を図ることで、より多くの方々に愛される企画になれるよう頑張りたいと思います。

